

第20回

執筆者は語る

館内展示期間:2020年6~7月

2019年度に本学専任の先生が
執筆・寄贈された本を ご紹介しています。



【人間科学部／心理学科】

坂本真佐哉先生 は語る



公認心理師標準テキスト 心理学的支援法

146
1424

この本は、公認心理師を目指す人のために書かれたテキストの一つです。心理学的支援とは、いわゆる心理療法やカウンセリングのことです。この分野には実に様々な理論と技法があり、世の中には400以上の理論があるとも言われています。本書には、400とまでは言いませんが、わが国で代表的な理論が網羅されていますので、公認心理師や臨床心理士を目指す人には必携です。

心理的な問題や悩みは目に見えるものではありませんから、その解決法はともすると独りよがりになってしまう危険性があります。学問として認められた理論的な裏付けがあることで独りよがりにならないこと、そのことが支援を要する人を守ることにつながり、占いやその他の民間療法との区別となります。（占いが悪いとは言いませんが、少なくとも「学問」には分類されません）

本書にてでくる理論はそれぞれの分野を専門とする者が執筆しており、第10章「関係者のシステムに働きかける支援のあり方」は、家族療法を専門とする本学心理学科の坂本が担当しています。